

# 【大東亜戦争と南方の英霊】

～ 玉砕の島「レイテ」における落下傘部隊の足跡 ～

(薫空挺部隊と高千穂降下部隊の英雄たち)

歴史は語り継がなくてはならない。まして日本を護るため、家族を護るために戦った戦争の歴史を子孫たちに語り継ぐのは現代を生きる我々の責務である。大東亜戦争終盤、レイテ島で勇猛果敢に戦った若者がいた。この将兵たちの歴史が忘れ去れようとしている。この島で戦った将兵を顕彰し、永遠に語り継ぐ活動に繋げていきたい。(レイテ島では約八万人の将兵が散華されている。)

◎日時 : 平成30年12月9日(日) 14:30～16:45 (開場: 14:15)

◎場所 : 文京シビックセンター スカイホール (26階)  
都営地下鉄三田線・大江戸線/春日駅、都営メトロ丸の内線・南北線/後樂園駅

◎参加料 : 1,000円(お一人様) ⇒ 事前予約不要  
<問合せ先> [k.okumoto.0715@nifty.com](mailto:k.okumoto.0715@nifty.com) 090-1037-8754 (奥本)

◎講演内容

【来賓挨拶】 茂木 弘道 : 史実を世界に発信する会 会長代行

【基調講演】

演題 : 「レイテ戦の真実」

講師 : 重松 正一 (戦争歴史研究家 (レイテ戦専門))

\*父君はレイテ戦第26師団13連隊大隊長 (レイテ島カンキポットにて自刃)

【講演】

○「薫空挺部隊、高千穂降下部隊のレイテ島での奮戦」

講師 : 奥本 康大 (「空の神兵」顕彰会会長)

\*父君はパレンバン落下傘奇襲攻撃で「殊勲甲」を授与された奥本中尉

○「英霊のご帰還事業について」

講師 : 田中 みずき (全国ソロモン会、JYMA 日本青年遺骨収集団)

\*世界各地に眠る英霊のご遺骨収集活動 (奉仕活動) に従事

○「英霊の顕彰について」(ガダルカナルの戦い他)

講師 : 佐藤 和夫 (英霊の名誉を守り顕彰する会)

【総括】 藤田 裕行 : 国際ジャーナリスト (二宮報徳連合会長)

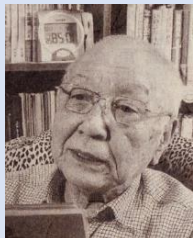
○主催 「空の神兵」顕彰会 名誉会長 : 加瀬 英明

○後援 (順不同)

史実を世界に発信する会、二宮報徳連合、新しい歴史教科書をつくる会、  
英霊の名誉を守り顕彰する会、特攻隊戦没者慰霊顕彰会



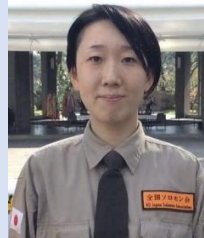
茂木 弘道



重松 正一



奥本 康大



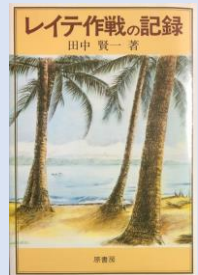
田中 みずき



佐藤 和夫



藤田 裕行



\*講演会終了後、直会を予定しています。(@3,500円 当日受付)